備えて安心、 地域の絆で 命を守る

自然災害は予測不可能で、いつ襲ってくるか分かりません。 そんなとき、重要になってくる3つの要素が**自助**(自分の身は 自分で守る)、共助(地域住民同士の助け合い)、公助(行政に よる支援)、であり、この3つが調和して初めて、真の防災力 が生まれます。

中でも今回注目するのは「共助」の力。1995年1月17日に 発生した阪神・淡路大震災以降共助の重要性が強く認識されま した。行政の初動対応には限界があり、多くの被災者が近隣住 民による救助で助かりました。地域の協力関係は、災害時に驚 くほどの威力を発揮します。

震災後、地域コミュニティによる自主防災組織の設立が進み、災害に備えた取り組みが広がりま した。今回は、そんな自主防災組織として「共助」に力を入れている前ケ須区自主防災会と会長の加 藤幹夫さんを紹介します。



現在、地域での災害対策は不十分

子どもの頃、伊勢湾台風を経験し、弥富町 職員だった父親の災害復旧対応をする姿を見 た記憶から、子どもながらに感じた悲惨さを 「伊勢湾台風級の災害には人海戦術をとらない と災害復旧、避難所運営、避難者支援はでき ないと感じました。阪神・淡路大震災、東日 本大震災、能登半島地震をみても、広域災害 であるほど、発災時から公助が入るまでに時 間がかかります。その間、家族や親族など大 切な人を守るのに個の力では限界があり、生 活を維持するにも相当な負担がかかります。」 と話し、続けて「最近はご近所、地域コミュニ ティが軽視されつつあります。災害が多い日 本、いつか自分の身にかかる災害を想定して おかなければ悲惨な事態を招くことになって しまうかもしれません。自助で助かった命を 共助でつなぐことが大切です。」と共助の重要 性を訴えられました。

地域防災の課題とこれから

「皆さん、防災は必要とは考えているが、不便な生活を知り ません。スイッチを入れれば電気が使える。蛇□を捻れば水が 出る。電子レンジ3分でご飯が食べられる。発災すればこん な当たり前が当たり前でなくなり、今日と明日では全く違った 世界になることを自覚する必要があります。」と一人一人の防災 意識の重要性と「自主防災会だけではなく、町内ごとでも出前 講座などを活用して防災知識向上を図るとともに、市内全域合 同の自主防災会総合防災訓練を実施して各コミュニティの繋が りを強化できるといい。」とこれからの目標を語られました。







前ケ須区自主防災会活動紹介

学んで、備えて、つながって、 防災訓練

前ケ須自主防災会では、年2回の防災訓練を実施しています。 主な訓練内容は、①避難所受付・情報訓練、②防災資料の掲示・説 明、③防災資機材の展示・説明・取り扱い実技、④防災ビデオ鑑賞、 ⑤炊き出し訓練です。





資機材の取り扱い実技では、ボートやトイレ、浄水機 などを実際に手動で組み立てるなど、実演を行っていま す。炊き出し訓練では、実際に被災時に食べる非常食を 試食します。湯煎した缶飯や、お湯を入れて待つだけで そのまま食べられるようになるおにぎりを訓練参加者と 一緒に食べます。実際に食べてみると、「意外とおいし いしものなどをさまざまな種類を取り揃えています。

また、消防団員による小型ポンプ操法の実演など、消 防団への勧誘活動も行っています。防災訓練では、参加 記念品として災害時にも使える電池式の手持ち扇風機を 配布するなど、参加者を増やし、少しでも防災意識の向 上につなげるためにいろいろな工夫をしています。



今日の備え、明日の命綱



緊急時用浄水装置

間当たり 2,000 リット

給することができます。

一次浄水…生活水

二次浄水…飲料水

発電機

カセットボンベ(左) とガソリンで動かすこ とができる発電機(右) です。災害時には電気 をつくり、非常灯をつ けたり、スマホの充電 を行うことが可能です。



移動炊飯器 Ζ 型

LP ガス(プロパンガ ス)と薪の両方で使用可 能です。1度の調理で 米だと 220 膳分、汁物 だと300人分調理が可



レディースキット

通常の避難者対応物 品にプラスして、自主 防災会女性会員からの アイデアを採用して、 女性があると嬉しいも のをキットにしました。



市では、地域の自主防災組織での活動を応援しています



自主防災組織

自主防災組織 しく紹介して います。結成 方法や補助金 についても説 明しています。



D 1000547

まちづくり出前講座

市の職員が講 師になって出 向き、防災に 関する市の取 組について説 明を行います。



D 1000726

弥富市消防団

消防団は、地域 における消防・ 防災の担い手と して活動してい ます。市内在住、 在勤の方の入団 をお待ちしてい



D1001490

次ページでは地域でマネジメントする避難所開設と避難所運営について紹介していきます!

広報やとみ 2024.9